

創刊にあたって

広島修道大学は情報化社会の進展と経済現象の高度化・多様化に的確に対応してゆくために、既存の商学部を改組し、本学の4番目の学部として現代経済学科と経済情報学科から成る全国で初めての経済科学部を本年4月に開設した。また、同時に広島修道大学経済科学会が発足し、今般機関紙「経済科学研究」創刊号を発行することになった。関係者の方々の御理解と御協力に感謝したい。

経済科学は学際的な新分野で、システム科学を仲立ちとして経済学と情報科学を有機的に結合することをその課題としながら、コンピュータ等を用いて経済情報を的確に分析してゆくという経済学の新たな方向性を開拓していく学問分野であると考えることができる。

この課題を実現してゆくためには、経済学と情報科学の各領域の独自研究のより一層の深化が望まれると同時に、共同研究等によるそれらの学際領域・共通領域の開拓が必要である。

商学部では、従来より学際的領域の共同研究が行われてきたが、新学部の発足により共同研究がより行いやすいように設備・スタッフの両面において充実してきた。特に、共同研究が可能な領域は、経済学と情報科学の相互作用が大きく、それらの研究が新分野を開拓し、一つの新たな融合分野に発展すると思われる。共同研究を通じて両分野の一層の融合を図っていきたい。

新学部の研究成果が新生「経済科学研究」に多数掲載され、学界の評価をうけ、ユニークな研究誌として市民権を得て、経済科学の発展に寄与することを期待している。

平成9年10月10日

広島修道大学経済科学部長
理学博士 児玉正憲